

2 調査会審議経過

国の統治機構に関する調査会

委員一覧（25名）

会 長	山崎	力（自民）	古賀	友一郎（自民）	森本	真治（民主）
理 事	猪口	邦子（自民）	酒井	庸行（自民）	安井	美沙子（民主）
理 事	島村	大（自民）	高橋	克法（自民）	矢倉	克夫（公明）
理 事	渡邊	美樹（自民）	武見	敬三（自民）	柴田	巧（維元）
理 事	野田	国義（民主）	柘植	芳文（自民）	儀間	光男（維会）
理 事	新妻	秀規（公明）	三木	亨（自民）	山本	太郎（生活）
理 事	倉林	明子（共産）	田城	郁（民主）	荒井	広幸（改革）
	井原	巧（自民）	津田	弥太郎（民主）		
	衛藤	晟一（自民）	水野	賢一（民主）		

（28. 2. 10 現在）

（1）活動概観

〔調査の経過〕

本調査会は、立法府、行政府等国の統治機構の在り方及び国と地方との関係に関し、長期的かつ総合的な調査を行うため、第184回国会の平成25年8月7日に設置された。3年間の調査テーマを「時代の変化に対応した国の統治機構の在り方」とし、1年目は「議院内閣制における内閣の在り方」を調査項目として取り上げ、第186回国会の平成26年6月11日、調査報告書（中間報告）を議長に提出した。調査の2年目は、「国と地方の関係」を調査項目として取り上げ、第189回国会の平成27年6月12日、調査報告書（中間報告）を議長に提出した。

調査の最終年に当たる3年目は、「二院制議会における今日の参議院の役割」を調査項目とすることとし、鋭意調査を行った。

今国会においては、平成28年2月10日、立法及び行政監視の活性化への視点について、参考人政策研究大学院大学教授飯尾潤君及び同志社大学法学部教授勝山教

子君から意見を聴取した後、質疑を行った。

2月17日、二院制議会における両院の在り方について、参考人筑波大学大学院人文科学研究科教授岩崎美紀子君及び早稲田大学政治経済学術院教授日野愛郎君から意見を聴取した後、質疑を行った。

2月24日、参議院の目指すべき姿について、参考人駒澤大学法学部教授大山礼子君及び政策研究大学院大学教授竹中治堅君から意見を聴取した後、質疑を行った。

これらの調査を踏まえ、4月6日、調査報告の取りまとめに向けた委員間の意見交換を行った。

参考人からの意見聴取及び質疑、委員間の意見交換を踏まえ、5月18日、調査報告書を取りまとめ、議長に提出した。

〔調査の概要〕

2月10日の調査会では、参考人から①審議活性化と参議院の独自機能発揮のた

めの方策、②参議院における客観的視点からの行政監視の重要性等について意見を聴取し、法案審議における参議院の権限放棄分野と独自性発揮分野、首相等の国会への長時間の拘束とその解決策、参議院において議員立法を行う意義、国会における女性議員の比率が低い現状に対する見解、行政監視機能を高めるための口頭質問制度の導入と議会少数派による国政調査権の行使、衆議院の優越と参議院先議との関係、参議院における予備的調査の必要性、決算委員会がより機能するための方策等について質疑を行った。

2月17日の調査会では、参考人から①我が国の二院制議会の特徴、②衆参両院の在り方を踏まえた選挙制度等について意見を聴取し、直近の参議院選挙制度改革の評価及び地域代表原則に対する考え方、参議院を地域代表とした場合の比例代表制の取扱い、参議院の代表原則を地域代表とした際の選挙制度と多様な民意の反映方法、小選挙区制及び政党助成制度の導入と議会制民主主義への影響、参議院における決算審査の充実策、議員定数削減及び一院制導入に対する見解、選挙時の供託金減額に対する見解、参議院議員選挙における一票の較差に対する最高裁判決の変化とその評価等について質疑を行った。

2月24日の調査会では、参考人から①参議院の強い権限の見直しと審議の充実、②多様な民意を反映するための参議院議員選挙制度の改革等について意見を聴取し、政党政治と二院制の理想像に対する見解、現在の参議院議員定数に対する見解、参議院議員選挙に地域代表制や大ブロック制を導入する意義、女性の国会議員が増える意義と政策決定に与える影響、参議院議員の国务大臣等就任に対する見解、多様な民意の反映と連立政権、いわゆる60日ルール適用と参議院の役割、法案提出後の内閣修正と国会審議活性化等について質疑を行った。

4月6日の調査会では、調査報告の取りまとめに向けて、行政監視機能の強化、一票の較差の是正、参議院の望ましい選挙制度、多様な民意の反映、法案審議における先議の在り方、若年層及び女性の政治参加促進、法案の事前審査と国会審議の形骸化、二院制の存在意義、参議院議員の被選挙権年齢、参議院が目指すべき姿等について委員から意見が述べられた。

5月18日、3年目の調査活動の概要をまとめ、国会機能の活性化、衆参両院の在り方、国会と内閣の関係、参議院の目指すべき姿という主要論点別に議論を整理した調査報告書を議長に提出した。

(2) 調査会経過

○平成28年2月10日(水) (第1回)

- 理事の補欠選任を行った。
- 国の統治機構等に関する調査のため必要に応じ参考人の出席を求めることを決定した。
- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 「時代の変化に対応した国の統治機構の在り方」のうち、二院制議会における今日の参議院

院の役割(立法及び行政監視の活性化への視点)について次の参考人から意見を聴いた後、両参考人に対し質疑を行った。

[参考人]

政策研究大学院大学教授 飯尾潤君

同志社大学法学部教授 勝山教子君

[質疑者]

島村大君（自民）、野田国義君（民主）、秋野公造君（公明）、倉林明子君（共産）、柴田巧君（維元）、儀間光男君（維会）、山本太郎君（生活）、渡邊美樹君（自民）

○平成28年2月17日（水）（第2回）

- 「時代の変化に対応した国の統治機構の在り方」のうち、二院制議会における今日の参議院の役割（二院制議会における両院の在り方）について次の参考人から意見を聴いた後、両参考人に対し質疑を行った。

〔参考人〕

筑波大学大学院人文社会科学部研究科教授
岩崎美紀子君

早稲田大学政治経済学術院教授 日野愛郎君

〔質疑者〕

堀井巖君（自民）、安井美沙子君（民主）、新妻秀規君（公明）、倉林明子君（共産）、柴田巧君（維元）、儀間光男君（維会）、山本太郎君（生活）、古賀友一郎君（自民）

○平成28年2月24日（水）（第3回）

- 「時代の変化に対応した国の統治機構の在り

方」のうち、二院制議会における今日の参議院の役割（参議院の目指すべき姿）について次の参考人から意見を聴いた後、両参考人に対し質疑を行った。

〔参考人〕

駒澤大学法学部教授 大山礼子君

政策研究大学院大学教授 竹中治堅君

〔質疑者〕

井原巧君（自民）、石橋通宏君（民主）、新妻秀規君（公明）、倉林明子君（共産）、柴田巧君（維元）、儀間光男君（維会）、山本太郎君（生活）、島村大君（自民）

○平成28年4月6日（水）（第4回）

- 理事を選任した。
- 「時代の変化に対応した国の統治機構の在り方」のうち、二院制議会における今日の参議院の役割について意見の交換を行った。

○平成28年5月18日（水）（第5回）

- 国の統治機構等に関する調査報告書を提出することを決定した。
- 国の統治機構等に関する調査の報告を申し出ることを決定した。

（3）調査会報告要旨

国の統治機構等に関する調査報告

【要 旨】

本調査会は、立法府、行政府等国の統治機構の在り方及び国と地方との関係に関し、長期的かつ総合的な調査を行うため、平成25年8月7日に設置された。

本調査会は、「時代の変化に対応した国の統治機構の在り方」を調査テーマとし、1年目は「議院内閣制における内閣の在り方」、2年目は「国と地方の関係」を調査項目とした。

最終年に当たる3年目は、「二院制議会における今日の参議院の役割」を調査項目として取り上げ、立法及び行政監視の活性化への視点、二院制議会における両院の在り方、参議院の目指すべき姿について、参考人から意見を聴取し、質疑を行った。また、委員間の意見交換を行い、これまでの調査を調査報告書として取りまとめ、平成28年5月18日、議長に提出した。

本調査会においては、国会機能の活性化、衆参両院の在り方、国会と内閣の関係、参議院の目指すべき姿等について広く議論を行い、報告書ではそれらを主要論点別に整理している。